

## SBI新生銀行グループ リスク選好方針（要旨）

### ■ 公的資金の返済を念頭に置き、資産・資本効率の一層の改善を図り、収益極大化に努める。

● 公的資金返済に向けて着実に利益を獲得し、当行グループの持続性・成長性に対して信認を受ける。

● 一定の自己資本比率を維持するために、営業資産の拡大のみに依拠するのではなく、資産・資本効率をこれまで以上に高めていく。

● 自己資本の制約の下で収益力の最大化を図るために、ポートフォリオの質を維持・向上させつつ、資産・資本効率の改善（自己資本対比における収益率の改善）に取り組み、当行グループのリスクテイク能力を引き上げていく。

### ■ 当行グループのリスクテイク能力に関しては、以下 2 点に留意する。

● 与信集中に留意し、資産の健全性を維持する。

～貸倒損失による利益の変動性を抑制するため、与信集中（個社集中・業種集中）について慎重な検討やモニタリングを行う。

● 安定的な資金調達構造を維持する。

～安定的な資金調達構造を構築するため、粘着性のある預金獲得のための施策を実施する。

(注)上表の基本方針の下、「資本充実度」、「資金流動性・資金調達」、「ビジネス」、「オペレーショナルリスク」の4カテゴリーごとに、リスクアペタイトとリスク許容度を設定している。